

希望の風

下関市長の部屋

今ある素材を磨いて 「感動」と「にぎわい」を

こ んにちは。市長の前田晋太郎です。市長に就任し一年になりました。これからも皆さんに希望を感じてもらえるように努力を惜しまない気持ちです。引き続きご理解と協力をよろしくお願いします。

先日、長門市の大西市長と両市の道の駅を訪れて観光PRを行ってきました。「北浦街道ほろほく」から始まり、山陰観光列車「○○のはなし」で乗客に観光PR。最後は長門市の新しい道の駅「センザキッチン」を訪問しました。当日は素晴らしい天候で、山陰の豊かな自然と美しい海岸線を楽しみ、改めて下関市の幅広い観光素材の魅力に自信と確信を持ちました。



長門市・大西市長と豊北道の駅で観光PR

強い「発信力」で、国内外を問わず多くのお客様を招き、下関市にしかない魅力に「感動」してもらおう。そのための整備と投資が必要と考えています。

もう一つ、下関市の観光に足りない要素は何か。それは、来関者の滞在時間の短さです。角島大橋、豊北の道の駅、川棚温泉などの山陰エリアだけでなく、長府から吉田の歴史を堪能できるエリアなど広い下関市を長い時間楽しんでもらえる観光周遊ルートをもっとPRして、土日だけでなく、平日や夕方も多くの人でにぎわう下関市にしたいと考えています。

その中心には唐戸エリアのウオーターフロント開発が必要不可欠です。シティーホテルの誘致はもちろん、歴史・文化・食を楽しんでもらえる街づくりを進めて行きたいと考えています。ご期待ください！



このコーナーは、各地で「住民自治によるまちづくり」に取り組む「まちづくり協議会」が作成しています。特色のある活動や取り組みなどについて紹介します。

西部地区まちづくり協議会

キャッチフレーズ

「歴史と商業の中心地として活動するまちづくり協議会」

歴史と商業の中心地で活動

西部地区まちづくり協議会は、平成28年2月2日に設立し、文洋中学校校区を中心に26団体と公募の住民で構成されています。

下関の玄関口JRR下関駅を中心としたショッピングゾーンや活気あふれる下関南港・漁港がエリアで、明治維新の史跡も多くあり、観光名所地区でもあります。

風土を活かした部会活動

【総務部会】

広報紙(西部まち協だより)の発



総務部会のふれあいウォーキング

行により、各部会活動や地域の催しを紹介。歴史探索のふれあいウォーキングを開催しました。

【福祉部会】

「オレンジカフェつづみ」の開催

安心して暮らせるまちづくりを目的として、地域のお年寄りや家族が集い、西部包括支援センター等を中心にボランティアと一緒に、おしゃべりやゲーム、講話などを行っています。



福祉部会のオレンジカフェつづみ

【教育部会】

「照子親(ていこや)開催

地域の子どもたちの育成として、夏休み中の子どもたちを集めて体



教育部会のまちづくりフェスティバル

「まちづくりフェスティバル」開催
地域の人たちとのふれあいを図るため、バザー・ステージイベントを開催し、フィナーレは平家総おどりで楽しく過ごしました。

【安全安心部会】

地域の子どもたちの見回り活動として、文洋中学校区内の「地域内危険箇所マップ」を作成し、地域全世帯と中学校、小学校に配布しました。



【協議会情報】

○西部地区まちづくり協議会

(文洋中学校エリア)

△会長 田北 律弥 △事務所

伊崎町一丁目4番30号(西部

公民館内) ☎250・6455